

けい酸塩無機質系浸透性多機能カラークリアー仕上げ

セラ6500

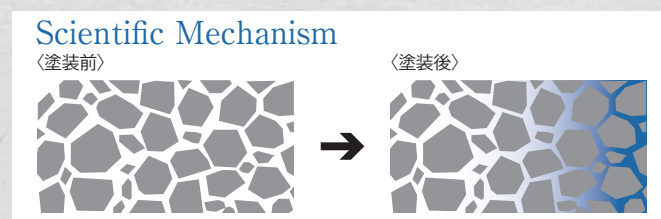
セラ6500は外壁コンクリートの強化、経年劣化防止とともにコンクリート素材の風合いを残し、自由にカラーリングができます。

コンクリートの表層改質効果に加え、カラー、濃度を選定することで意匠性を向上させる無機顔料使用のカラークリアー仕上材です。

超高耐候性能 強化・保護・美観

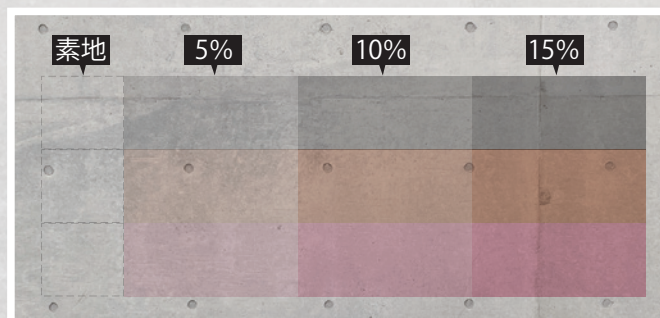
- 多孔質なコンクリートは毛細管空隙が連続し浸透性があり、劣化要因に共通する水の浸入からさまざまな劣化現象を引き起こします。セラ6500シリーズはコンクリート中の水酸化カルシウムと反応し、ガラス状の結晶物が空隙を小さくし、表層では水を吸収しますが、内側ではガラス結晶物が防水層となり透湿性を有する仕上材とのダブル効果で躯体コンクリートの劣化進行を抑制します。
- けい酸塩無機質系カラークリアー材の結合エネルギーが有機物を劣化させる紫外線エネルギーより高く、また反応基を持たないことから耐久性に優れます。
- 無機高分子の組成により静電気を帯びることなく浮遊する汚染物質を引き寄せないため汚染の抑制効果を発揮します。
- カラークリアーは色、濃度を設定することで意匠性を高めます。

■コンクリート強化イメージ



空隙などに浸透し結晶化することで緻密化して表層劣化、中性化を防止し、塩害・凍害に対する抵抗性も向上します。

■カラーリングイメージ



*新築、改修時の補修跡などコンクリートの意匠合わせは別途ご相談ください。

■製品 セラ6500(疎水艶消し)
セラ6500撥水CC(3艶程度)

18kg・4kg
15kg・4kg

■用途
コンクリート・モルタル・PC板・
押し出し成型セメント板・コンクリート成形品など

【仕様書】セラ 6500

【セラグリーン】 けい酸塩系無機質 カラークリアーコーティング セラ6500・セラ6500撥水CC

【施工仕様】 塗装部位：コンクリート、PC、押出成形セメント板・コンクリート成型品

	使用材料	塗回数	標準所要量 (kg/m ²)	塗り重ね 乾燥時間	希釈剤 (希釈率%)
下地清掃	エアブロー刷毛等で施工面の埃等を除去する。固着突起はカワスキで取り除きサンディングで平滑処理する。				
下塗り	専用プライマー セラ200P ※吸込みの多い場合、多い箇所を2回塗布	1	0.1～0.15	3.0h以上	—
上塗り1	【セラグリーン】セラ6500 クリアーにカラーベース剤を5～15%混入	1	0.08～0.10	2.0h以上	—
上塗り2	【セラグリーン】セラ6500 クリアーにカラーベース剤を5～15%混入	1	0.08～0.10	—	—

原則スプレーにて施工する

※セラ6500が含浸した後、反応過程で酸に触れると表層で反応して白華してしまうので注意してください。

また、セラ6500の反応硬化後においても酸に触れると毛細管現象にてコンクリート表層に浸み込み、白華させますので酸を使用する場合は養生・取扱いに十分注意してください。

※セラ6500は基材を生かした浸透性のカラークリアー仕上げ塗装になります。コンクリート表面含水率は10%以下で施工してください。特に濃色の場合はその仕上がりがムラに見えることがありますので御承願います。

※セラ6500は塗膜で隠蔽する構造ではないので水が留まる箇所に関しては、トップコートとして「セラ5000撥水CC」を推奨します。またセラ6500は水性の含浸系の塗料の為、毛細管現象により一時的に基材のカルシウム成分を吸い上げる場合があります。濃色のカラークリアーの場合はその現象が目立つ事がありますが塗膜への影響はありません。

※保管上の注意：

●直射日光下、冬季の0℃以下での保管は避けてください。一度凍結すると再生しません。

●通風のよい、5℃以上の冷暗所に施錠して保管してください。

※補修箇所色補正は、1回目カラークリアーの後に色補正し、その後再度カラークリアーを全体に塗布します。

■施工手順

